

Sx200、Sx300、またはSx500スイッチでのコンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップ

目的

スイッチのバックアップコンフィギュレーションファイルまたはログは、トラブルシューティングや、デバイスが誤ってリセットされた場合に役立ちます。これには、システムのシャットダウンに対する保護や特定の動作状態のメンテナンスに使用されるファイルの手動コピーが含まれます。たとえば、ミラー構成、スタートアップコンフィギュレーション、または実行コンフィギュレーションをバックアップファイルにコピーして保存できます。このファイルを使用して、スイッチを更新または機能状態に戻すことができます。

バックアップコンフィギュレーションファイルは、トリビアルファイル転送プロトコル(TFTP)サーバ、セキュアコピー(SCP)サーバ、またはコンピュータに保存できます。この記事では、次のいずれかの方法でシステム設定ファイルをダウンロードまたはバックアップする方法について説明します。

- [Via TFTP](#) : コンフィギュレーションファイルをTFTP経由でダウンロード/バックアップする際に、TFTP方式が選択されます。TFTPは主にLAN内のコンピュータの起動に使用され、ファイルのダウンロードにも適しています。
- [HTTP/HTTPS経由](#):HTTP/HTTPS経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロード/バックアップするために、Hyper Text Transfer Protocol(HTTP)またはHyper Text Transfer Protocol Secure(HTTPS)方式が選択されます。この方法は安全性が高いため、ファイルのダウンロードによく使用されます。
- [Via SCP \(Over SSH\)](#):SCP (Over SSH)方式は、セキュアシェル(SSH)経由でコンフィギュレーションファイルをダウンロード/バックアップするために選択されます。このコンフィギュレーションファイルのダウンロード/バックアップは、セキュアなネットワークを介して行われます。

適用可能なデバイス

- Sx200シリーズ
- Sx300シリーズ
- Sx500 シリーズ

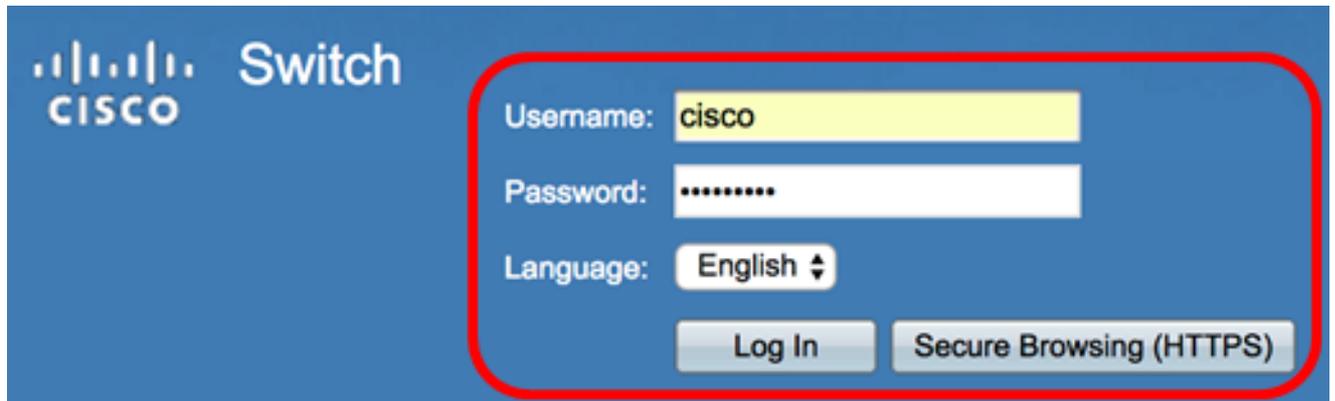
[Software Version]

- 1.4.7.6

コンフィギュレーションファイルのダウンロードまたはバックアップ

ステップ 1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインします。デフォルトのユーザー名とパスワードは、cisco/cisco です。

注：すでにパスワードを変更したか、新しいアカウントを作成している場合は、代わりに新しいクレデンシャルを入力します。



ステップ 2：次のダウンロード方法またはバックアップ方法のいずれかを選択します。

- [TFTP経由](#)
- [HTTP/HTTPS経由](#)
- [SCP経由 \(SSH経由\)](#)

TFTPによるシステム設定ファイルのダウンロードまたはバックアップ

注：使用可能なメニューオプションは、デバイスのモデルによって異なります。この例では、SG300-28スイッチが使用されています。

ステップ 1：Administration > File Management > Download/Backup Configuration/Logの順に選択します。

Administration

System Settings

Console Settings

▶ Management Interface

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

▶ System Log

File Management

Upgrade/Backup Firmware/Language

Active Image

Download/Backup Configuration/Log

Configuration Files Properties

Copy/Save Configuration

DHCP Auto Configuration/Image Update

Reboot

▶ Diagnostics

Discovery - Bonjour

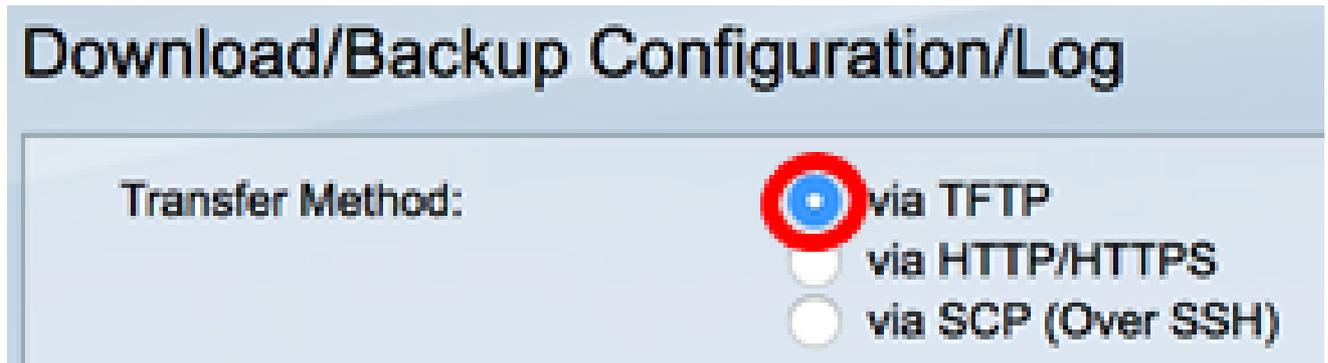
▶ Discovery - LLDP

▶ Discovery - CDP

Ping

Traceroute

ステップ 2 : Transfer Method領域で、via TFTPオプションボタンをクリックします。



ステップ 3 : Save ActionのDownloadまたはBackupオプションボタンをクリックして、設定ファイルまたはログをダウンロードするか、バックアップするかを指定します。この例では、Backupが選択されています。



ステップ 4 : TFTP Server Definition領域のオプションボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- By IP address:TFTPサーバのIPアドレスを入力します。この例では、このオプションが選択されています。
- By name:TFTPサーバのホスト名を入力を選択します。このオプションが選択されている場合は、[ステップ6](#)に進んでください。



ステップ5: (オプション) IPアドレスを指定するを選択した場合は、IP Version領域からVersion 4(IPv4)またはVersion 6(IPv6)を選択します。バージョン6を選択した場合は、IPv6 Address Type領域で、IPv6がリンクローカルアドレスかグローバルアドレスかを指定します。リンクローカルアドレスの場合は、Link Local Interfaceドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。バージョン4が選択されている場合は、[ステップ6](#)に進みます。

TFTP Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface: VLAN 1

注：この例では、IPバージョン4が選択されています。

ステップ6: (オプション) ステップ4で「By name」を選択した場合は、「TFTPServer IP Address/Name」フィールドにTFTPサーバのホスト名を入力します。それ以外の場合は、IPアドレスを入力します。

TFTP Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface: VLAN 1

TFTP Server IP Address/Name: 192.168.100.147

注：この例では、コンフィギュレーションファイルはIPアドレス192.168.100.147でTFTPサーバに保存されます。

手順7：[ソースファイルの種類]領域で、バックアップするファイルの種類オプションボタンをクリックします。スイッチには、次のコンフィギュレーションファイルがあります。

- 実行コンフィギュレーション：最新のコンフィギュレーションを含むコンフィギュレーションファイル。最後のリブート以降に管理セッションに適用された変更も含まれます。
- スタートアップコンフィギュレーション：フラッシュメモリに保存されるコンフィギュレーションファイル。
- バックアップ設定：バックアップの目的でスイッチに保存される追加の設定ファイル。
- ミラー構成：少なくとも24時間変更されていない場合、実行コンフィギュレーションファイルは自動的にミラー構成ファイルタイプに保存されます。
- Flash Log：フラッシュメモリに保存されるログエントリを含むログファイル。

Source File Type:

- Running configuration file
- Startup configuration file
- Backup configuration file
- Mirror configuration file
- Flash Log

注：この例では、実行コンフィギュレーションファイルが選択されています。このオプションを選択すると、現在の実行コンフィギュレーション設定がバックアップされます。

ステップ 8：[機密データ]領域で、バックアップファイルに機密データを含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- Exclude：バックアップに機密データを含めません。
- 暗号化：機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- プレーンテキスト：機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data:

- Exclude
- Encrypted
- Plaintext

注：この例では、プレーンテキストが選択されています。これにより、すべてのデータがプレーンテキスト形式でバックアップされます。

ステップ 9：Destination File Nameフィールドにバックアップファイル名を入力します。この例では、SG300-28.txtが使用されています。

 Destination File Name: (12/160 characters used)

ステップ 10：Applyをクリックして、バックアップ処理を開始します。

Download/Backup Configuration/Log

Transfer Method: via TFTP
 via HTTP/HTTPS
 via SCP (Over SSH)

Save Action: Download Backup 

TFTP Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface:

TFTP Server IP Address/Name:

Source File Type: Running configuration file
 Startup configuration file
 Backup configuration file
 Mirror configuration file
 Flash Log

Sensitive Data: Exclude
 Encrypted
 Plaintext
Available sensitive data options are determined by the current user's SSD rules

Destination File Name: (12/160 characters used)

ステップ 11操作が終了したら、Doneボタンをクリックします。

Download/Backup Configuration/Log

Bytes Transferred: 10422

Status: Copy finished

Error Message:

これで、TFTP転送方式を使用してスイッチのコンフィギュレーションファイルを正常にダ

ダウンロードまたはバックアップできませんでした。

■ roots88xx.11-0-1MPP-477.sbn	Jun 27, 2017, 11:03 AM	52.1 MB
■ roots288xx.11-0-1MPP-477.sbn	Jun 27, 2017, 11:04 AM	52.7 MB
■ sb288xx.BE-01-0203P.sbn	Jun 27, 2017, 11:03 AM	432 KB
■ sb2288xx.BE-01-011.sbn	Jun 27, 2017, 11:04 AM	757 KB
■ SG300-28.txt	Today, 1:41 PM	10 KB
■ sip88xx.11-0-1MPP-477.loads	Jun 27, 2017, 11:04 AM	2 KB
■ ssb288xx.BE-01-005.sbn	Jun 27, 2017, 11:04 AM	130 KB

[トップに戻る]

HTTP/HTTPSによるシステム設定ファイルのダウンロードまたはバックアップ

ステップ 1 : Administration > File Management > Download/Backup Configuration/Logの順に選択します。

Administration

System Settings

Console Settings

▶ Management Interface

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

▶ System Log

File Management

Upgrade/Backup Firmware/Language

Active Image

Download/Backup Configuration/Log

Configuration Files Properties

Copy/Save Configuration

DHCP Auto Configuration/Image Update

Reboot

▶ Diagnostics

Discovery - Bonjour

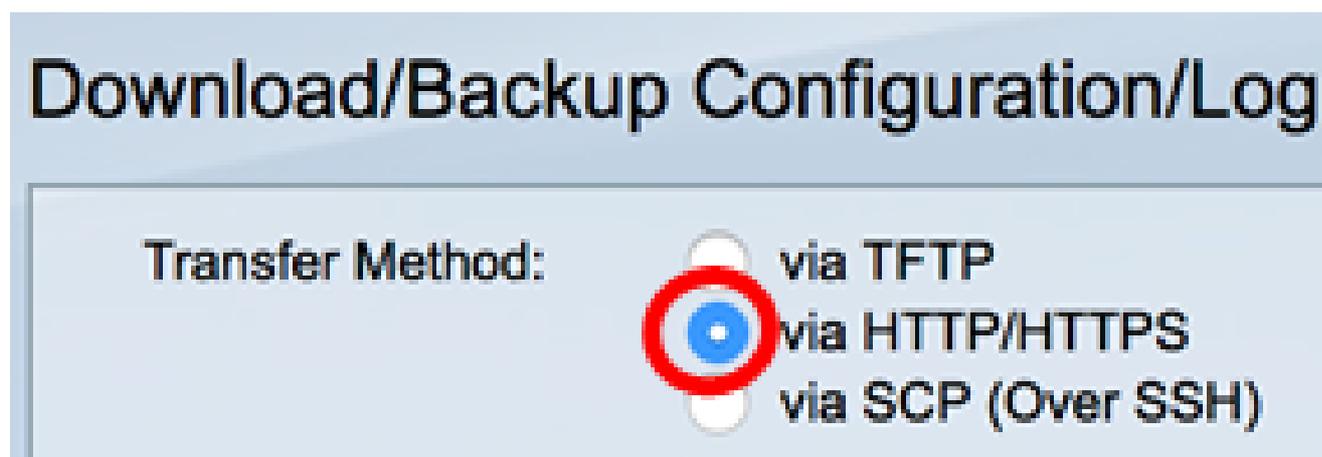
▶ Discovery - LLDP

▶ Discovery - CDP

Ping

Traceroute

ステップ 2 : Transfer Method領域で、via HTTP/HTTPSオプションボタンをクリックします。



ステップ 3 : Save ActionのDownloadまたはBackupオプションボタンをクリックして、設定ファイルまたはログをダウンロードするか、バックアップするかを指定します。この例では、Backupが選択されています。



ステップ 4 : [ソースファイルの種類]領域で、バックアップするファイルの種類オプションボタンをクリックします。スイッチには、次のコンフィギュレーションファイルがあります。

- 実行コンフィギュレーション : 最新のコンフィギュレーションを含むコンフィギュレーションファイル。最後のリブート以降に管理セッションに適用された変更も含まれます。
- スタートアップコンフィギュレーション : フラッシュメモリに保存されるコンフィギュレーションファイル。
- バックアップ設定 : バックアップの目的でスイッチに保存される追加の設定ファイル。
- ミラー構成 : 少なくとも24時間変更されていない場合、実行コンフィギュレーションファイルは自動的にミラー構成ファイルタイプに保存されます。
- Flash Log : フラッシュメモリに保存されるログエントリを含むログファイル。

Source File Type:

- Running configuration file
- Startup configuration file
- Backup configuration file
- Mirror configuration file
- Flash Log

注：この例では、実行コンフィギュレーションファイルが選択されています。このオプションを選択すると、現在の実行コンフィギュレーション設定がバックアップされます。

ステップ 5：[機密データ]領域で、バックアップファイルに機密データを含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- Exclude：バックアップに機密データを含めません。
- 暗号化：機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- プレーンテキスト：機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data:

- Exclude
- Encrypted
- Plaintext

注：この例では、プレーンテキストが選択されています。これにより、すべてのデータがプレーンテキスト形式でバックアップされます。

手順 6：[APPLY] をクリックします。

Download/Backup Configuration/Log

Transfer Method: via TFTP
 via HTTP/HTTPS
 via SCP (Over SSH)

Save Action: Download  Backup 

Source File Type: Running configuration file
 Startup configuration file
 Backup configuration file
 Mirror configuration file
 Flash Log

Sensitive Data: Exclude
 Encrypted
 Plaintext
Available sensitive data options are determined by the current user's SSD rules

Apply Cancel

手順 7 : 操作が完了したら、Doneボタンをクリックします。

Download/Backup Configuration/Log

Bytes Transferred: 10422

Status: Copy finished

Error Message:

Done

これで、HTTP/HTTPS転送方式を使用して、スイッチのコンフィギュレーションファイルを正常にダウンロードまたはバックアップできました。



[トップに戻る]

SCPを使用したシステム設定ファイルのダウンロードまたはバックアップ (SSH経由)

重要：SCP方式を使用する前に、SSHサーバ認証が有効になっており、対応する設定が構成されていることを確認してください。スイッチでSSH認証設定を設定する方法については、[ここ](#)をクリックしてください。

ステップ 1：Administration > File Management > Download/Backup Configuration/Logの順に選択します。

Administration

System Settings

Console Settings

▶ Management Interface

User Accounts

Idle Session Timeout

▶ Time Settings

▶ System Log

File Management

Upgrade/Backup Firmware/Language

Active Image

Download/Backup Configuration/Log

Configuration Files Properties

Copy/Save Configuration

DHCP Auto Configuration/Image Update

Reboot

▶ Diagnostics

Discovery - Bonjour

▶ Discovery - LLDP

▶ Discovery - CDP

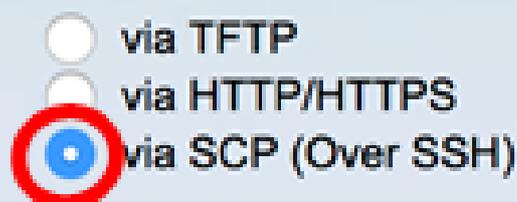
Ping

Traceroute

ステップ 2 : Transfer Method領域で、viaSCP (Over SSH)オプションボタンをクリックします。SCP方式は、セキュアシェル(SSH)を介してコンフィギュレーションファイルをダウンロードまたはバックアップするために選択されます。このコンフィギュレーションファイルのダウンロード/バックアップは、セキュアなネットワークを介して行われます。

Download/Backup Configuration/Log

Transfer Method:



ステップ 3 : リモートSSHサーバ認証がEnabledに設定されていることを確認します。この機能はSSHサーバを認証し、想定されるSSHサーバが正しいことを確認します。デフォルトでディセーブルになっている。無効にしても、この機能はファイル操作のSSH通信に影響しません。無効になっている場合は、Editをクリックして機能を有効にします。

SSH Settings For SCP:

Remote SSH Server Authentication: Enabled [Edit](#)

ステップ 4 : SSH Client Authentication領域のオプションボタンを選択して、リモートホストへの接続時に使用するSSHクレデンシャルを指定します。スイッチに格納されている永続的なSSHクレデンシャルを使用する場合は、Use SSH Client System Credentialsを選択します (これらのクレデンシャルは、SSH User Authenticationページを開くSystem Credentialsをクリックして将来使用するために設定できます)。一時的なクレデンシャルを使用する場合は、Use SSH Client One-Time Credentialsを選択します。

注 : ワンタイムクレデンシャルのユーザ名とパスワードはコンフィギュレーションファイルに保存されません。

SSH Settings For SCP:

Remote SSH Server Authentication: Enabled [Edit](#)

SSH Client Authentication:

Use SSH Client [System Credentials](#)
 Use SSH Client One-Time Credentials:

Username

cisco

(The username is

Password

.....

(The password is

注：この例では、Use SSH Client One-Time Credentialsが選択されており、それに応じてユーザ名とパスワードの詳細が入力されています。

ステップ 5：Save ActionのDownloadまたはBackupオプションボタンをクリックして、設定ファイルまたはログをダウンロードするか、バックアップするかを指定します。この例では、Backupが選択されています。

Save Action:

Download
 Backup



手順 6：SCP Server Definition領域のオプションボタンをクリックします。次のオプションがあります。

- By IP address:SCPサーバのIPアドレスを入力します。この例では、このオプションが選択されています。
- By name:SCPサーバのホスト名を入力します。このオプションが選択されている場合は、[ステップ8](#)に進んでください。

SCP Server Definition:

By IP address By name

IP Version:

Version 6 Version 4

IPv6 Address Type:

Link Local Global

Link Local Interface:

VLAN 1

ステップ7: (オプション) IPアドレスを使用するを選択した場合は、IP Version領域から

Version 4(IPv4)またはVersion 6(IPv6)を選択します。バージョン6を選択した場合は、IPv6 Address Type領域で、IPv6がリンクローカルアドレスかグローバルアドレスかを指定します。リンクローカルアドレスの場合は、Link Local Interfaceドロップダウンリストからインターフェイスを選択します。バージョン4が選択されている場合は、[ステップ8](#)に進みます。

SCP Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface: VLAN 1

注：この例では、IPバージョン4が選択されています。

ステップ8: (オプション) ステップ6で「名前を指定」を選択した場合は、「SCP Server IP Address/Name」フィールドにTFTPサーバのホスト名を入力します。それ以外の場合は、IPアドレスを入力します。

SCP Server Definition: By IP address By name

IP Version: Version 6 Version 4

IPv6 Address Type: Link Local Global

Link Local Interface: VLAN 1

SCP Server IP Address/Name: 192.168.100.148

注：この例では、コンフィギュレーションファイルはIPアドレス192.168.100.148のSCPサーバに保存されます。

ステップ 9 : [ソースファイルの種類]領域で、バックアップするファイルの種類のオプションボタンをクリックします。スイッチには、次のコンフィギュレーションファイルがあります。

- 実行コンフィギュレーション：最新のコンフィギュレーションを含むコンフィギュレーションファイル。最後のリポート以降に管理セッションに適用された変更も含まれます。
- スタートアップコンフィギュレーション：フラッシュメモリに保存されるコンフィギュレーションファイル。

- バックアップ設定：バックアップの目的でスイッチに保存される追加の設定ファイル。
- ミラー構成：少なくとも24時間変更されていない場合、実行コンフィギュレーションファイルは自動的にミラー構成ファイルタイプに保存されます。
- Flash Log：フラッシュメモリに保存されるログエントリを含むログファイル。

Source File Type:

- Running configuration file
- Startup configuration file
- Backup configuration file
- Mirror configuration file
- Flash Log

注：この例では、実行コンフィギュレーションファイルが選択されています。このオプションを選択すると、現在の実行コンフィギュレーション設定がバックアップされます。

ステップ 10：[機密データ]領域で、バックアップファイルに機密データを含める方法を選択します。次のオプションがあります。

- Exclude：バックアップに機密データを含めません。
- 暗号化：機密データを暗号化された形式でバックアップに含めます。
- プレーンテキスト：機密データをプレーンテキスト形式でバックアップに含めます。

Sensitive Data:

- Exclude
- Encrypted
- Plaintext

注：この例では、プレーンテキストが選択されています。これにより、すべてのデータがプレーンテキスト形式でバックアップされます。

ステップ 11 Destination File Name フィールドにバックアップファイル名を入力します。この例では、バックアップコンフィギュレーションファイルはSG300-28.txtファイルに保存されます。

Destination File Name: (12/160 characters used)

ステップ 12 Apply をクリックして、バックアップ処理を開始します。

Download/Backup Configuration/Log

Transfer Method:

- via TFTP
- via HTTP/HTTPS
- via SCP (Over SSH)

SSH Settings For SCP:

Remote SSH Server Authentication: Enabled [Edit](#)

SSH Client Authentication:

- Use SSH Client [System Credentials](#)
- Use SSH Client One-Time Credentials:

Username: (The username is not saved in the configuration file)

Password: (The password is not saved in the configuration file)

Save Action:

- Download
- Backup 

SCP Server Definition:

- By IP address
- By name

IP Version:

- Version 6
- Version 4

IPv6 Address Type:

- Link Local
- Global

Link Local Interface:

SCP Server IP Address/Name:

Source File Type:

- Running configuration file
- Startup configuration file
- Backup configuration file
- Mirror configuration file
- Flash Log

Sensitive Data:

- Exclude
- Encrypted
- Plaintext

Available sensitive data options are determined by the current user's SSD rules

Destination File Name: (12/160 characters used)

ステップ 13 操作が終了したら、Done ボタンをクリックします。

Download/Backup Configuration/Log

Bytes Transferred: 10422

Status: Copy finished

Error Message:

Done

これで、SCP転送方式を使用して、スイッチのコンフィギュレーションファイルを正常にダウンロードまたはバックアップできました。

[トップに戻る]

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。